

島原木綿について調べる

島原市の文化財について知りたい、郷土史について調べようと思う…等、調査に役立つ資料を紹介します。

☆蔵書検索機（OPAC）を使って調べる

島原図書館内の蔵書検索機（OPAC）で図書館所蔵資料を調べることができます。書名や件名の手がかりとなるキーワードを入力して検索すると、当該資料の情報が表示されます。

* 島原図書館WebOPAC

<http://shimabara-websv.shimabara-city-libraries.jp/opac/wopc/pc/pages/TopPage.jsp>

<キーワード例>

島原市有明歴史民俗資料館/島原木綿保存会/有明町史

など

☆概略を調べる

『島原市の文化財 今伝えたい島原の文化財』 (島原市教育委員会、2013年) 島原/709.1/㉙/5-46	島原市に存在する国、県、市指定の有形文化財、無形文化財、天然記念物について時代別に掲載している。
『有明の歴史と風土』 (有明の歴史を語る会、1989年) 島原/219.3/ /9	「有明の歴史を語る会」機関紙。島原半島、有明町に関する歴史、風土に関する研究を掲載されている。
『島原100年のまちづくり選定集 未来へ』 (島原市、2008年) 島原/219/㉙/9-339	島原100年のまちづくり選定集として島原市の歴史、文化、自然、建造物について掲載されている。

☆図書を探す

『有明の歴史と風土』創刊号 有明の歴史を語る会	織物の歴史、販路、木綿の柄、品質、衰退について掲載されている。
『有明の歴史と風土』第2号 有明の歴史を語る会	今に残る木綿や織機、年配の経験者の話など、有明の貴重な民芸品である島原木綿の特集が掲載されている。
『有明の歴史と風土』第3号 有明の歴史を語る会	かつての織手の女性が70歳を超えて、技術の伝承のために機織りの実演を行った話が記載されている。
『有明の歴史と風土』第3号 有明の歴史を語る会	衰退する島原木綿を憂い、復興にかけた、島原木綿九州毛織の初代社長、石森氏について記載されている。
『有明の歴史と風土』第4号 有明の歴史を語る会	紺屋から織布工業へ発展させ、町の木綿織にその成果を発展させた廣瀬智太氏の功績について記載されている。
『有明の歴史と風土』第18号 有明の歴史を語る会	84歳のシーばあちゃんが、現在も木綿を織りながら過去の思い出を巡らせる物語。
『有明の歴史と風土』第19号 有明の歴史を語る会	シーばあちゃんの昔の織の様子や生活の体験について記載されている。
『有明町史』上巻 (有明町、1987年) 島原/219/㉙/7-5	有明町に存在する先古代から近世の遺跡、史跡または歴史を紹介している。
『有明町史』下巻 (有明町、1989年) 島原/219/㉙/7-5	有明町の幕末から昭和までの出来事、文化、人物を紹介している。

☆史料を探す

吉田屋 計算帳 大正二年八月 大正四年二月	該当年月時の店の出納帳
--------------------------	-------------

☆インターネットを使って調べる

島原市HP	http://www.city.shimabara.lg.jp
島原市の公式サイト。島原市内の文化財についても紹介されている。	